

第21回ハリス理化学館同志社ギャラリー企画展

戸主出雲臣嶋麻呂、年肆拾捌歳、

正丁

右頬黒従

伍位下大生部直美保万呂資入、

古代計帳 に載るムラ

庶母出雲臣玉虫売、年肆拾肆歳、
山背国愛宕郡出雲郷をめぐる考古学
逃近江国斯我郡、

男出雲臣嶋主、年拾貳歳、
小子

男出雲臣嶋足、年伍歳、
小子

女出雲臣逆売、年貳拾壹歳、
右中

従五位下大生部直美保万呂資入、
米食

女出雲臣得売、年玖歳、
右黒

女出雲臣波閉売、年壹歳、
緑女

鉄くず(鉄滓)

古代の京都盆地の「出雲郷」の遺跡や周辺の古代寺院跡から出土した土器や瓦、それに鉄器製作をおこなっていた道具類などを展示



2020. 3/20 [金・祝] — 4/26 [日]

10:00-17:00 (入館は16:30まで) 月曜日休館

主催：同志社大学歴史資料館

会場：ハリス理化学館同志社ギャラリー

地下鉄「今出川」駅下車徒歩5分・同志社大学今出川キャンパス内

写真は、同志社女子大学内でみつけた8世紀の住居跡
拓影は、古代出雲寺跡採集瓦(御霊神社所蔵)



北白川廃寺出土軒丸瓦(上)・
軒平瓦(左)
[京都市埋蔵文化財研究所所蔵]

出雲郷東方の山麓の飛鳥
～奈良時代の古代寺院か
ら出土した瓦



相国寺境内の飛鳥～奈良時代集落跡から出土したフィゴ羽口(上)と炉壁片(下)
[京都市埋蔵文化財研究所所蔵]

出雲郷の村では鉄器生産などの手工業生産を行っていた

同志社大学今出川キャンパスの周辺は、正倉院文書の奈良時代の計帳(税の台帳)に載っている「山背国愛宕郡^{やましろのくにのおたぎぐん}出雲郷^{いずもこう}」にあたります。京都盆地の中で、山陰地方の出雲に系譜を持つ氏族がいたところだと考えられます。計帳の記載などから、この出雲臣一族が多数の下級官人を輩出したこともよく知られています。

実際に、キャンパス内やその周辺の遺跡では、飛鳥～奈良時代のムラの跡(住居跡)や多数の土器などが出土しています。現存する古代文書に載る村落の実態を示す遺跡の例は、めずらしく、とても貴重です。

今回の展示では、古代の京都盆地の「出雲郷」の遺跡や周辺の古代寺院跡から出土した土器や瓦、それに鉄器製作をおこなっていた道具類などを展示します。平安時代以後に大都市となる京都には、どのような「前史」があったのでしょうか。出土品や発掘調査成果から感じ取っていただければと思います。



京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅から徒歩5分

バス停留所

地下鉄出入口

ハリス理化学館同志社ギャラリー

〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸東入
同志社大学今出川キャンパス ハリス理化学館
Tel:075-251-2716 URL: <http://harris.doshisha.ac.jp>
連絡先: 同志社大学歴史資料館 Tel:0774-65-7255